

みんなでユニバーサルデザインを
広めて、誰もが暮らしやすいまちを
つくりましょう!



浜松市
HAMAMATSU CITY

はままつユニバーサルデザイン
～「思いやりの心が結ぶ優しいまち」を目指して～
令和6(2024)年3月

【編集・発行】

浜松市 市民部 UD・男女共同参画課
〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2
TEL:053-457-2364 FAX:053-457-2750
E-mail:ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp

浜松市ホームページトップ→サイト内検索

f Facebook
「はままつユニバーサル
デザイン」はこちらから



考え

気づき

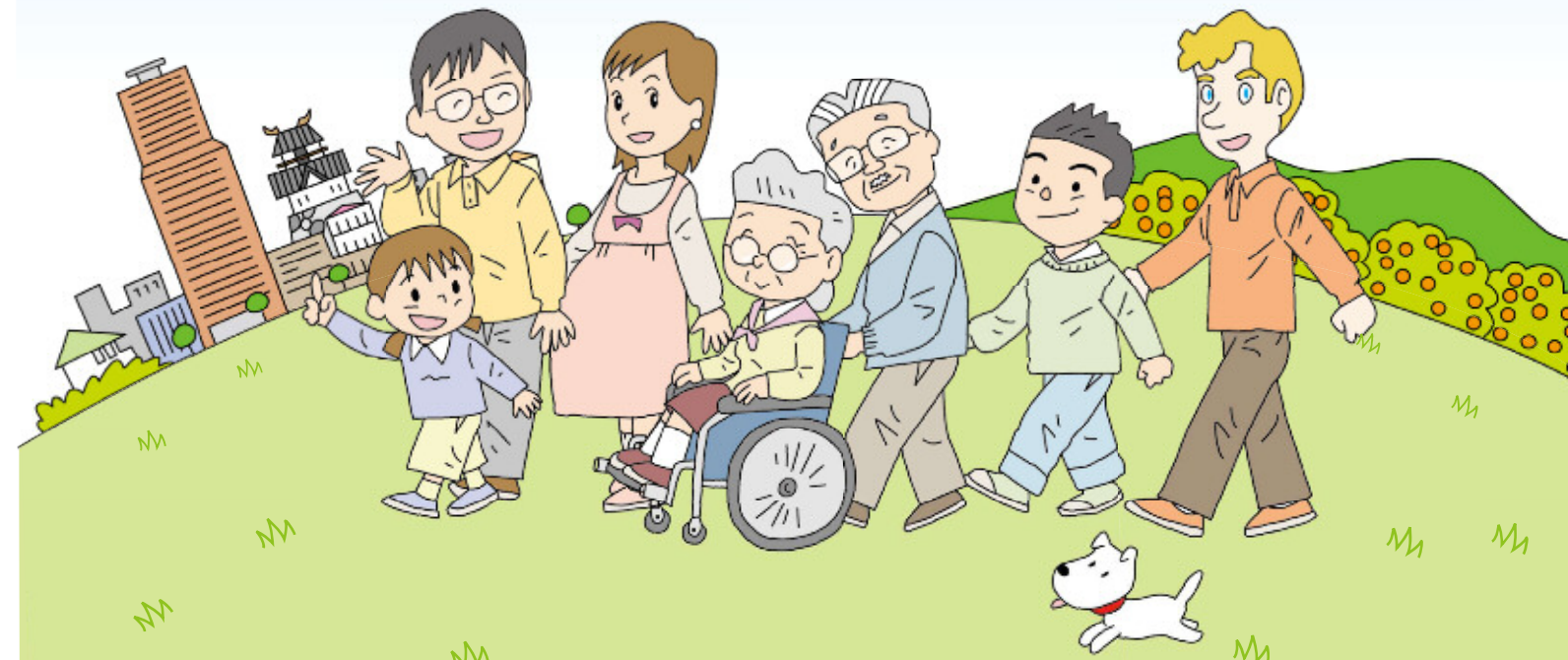
行動する

はままつ ユニバーサル デザイン



HAMAMATSU CITY
UNIVERSAL DESIGN

「思いやりの心が結ぶ優しいまち」を目指して



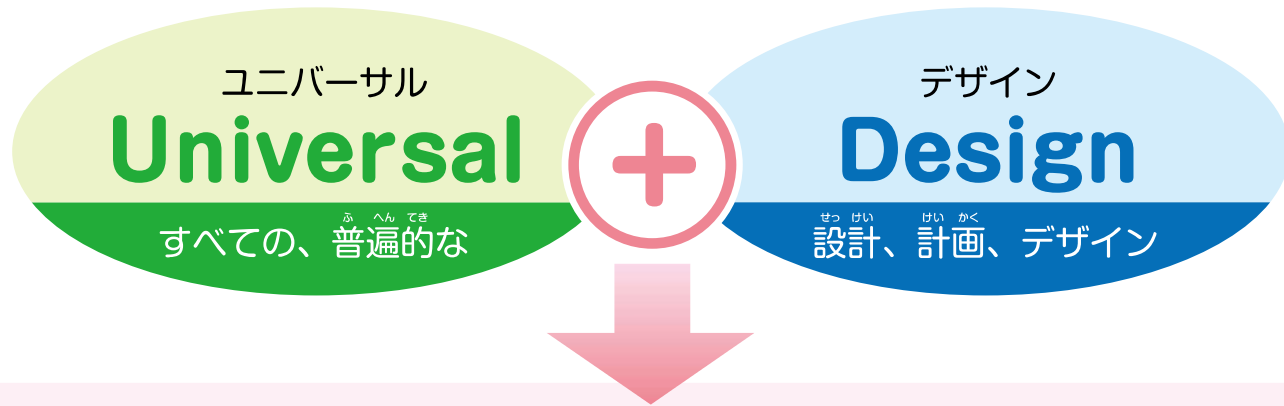
浜松市

気づき①

ユニバーサルデザインとは？

みなさんの周りには、いろいろな人がいます。
 たとえば、男の人、女の人、赤ちゃん、子ども、高齢者、障がいのある人、妊婦さん、背の高い人、低い人、外国人など…
 誰もが安全・安心で快適に暮らすためには、ユニバーサルデザインの考え方が必要です。

「ユニバーサルデザイン」の意味



ユニバーサルデザイン (Universal Design) は、「すべての人のためのデザイン」という意味です。

※頭文字を取って「UD」と略す場合もあります。

ある特定の人のためでなく、
 年齢や、性別、国籍、障がいの有無などの
 違いを超えて、
 すべての人が暮らしやすいように、
 まちづくりやものづくり、環境づくりを
 行っていこうとする“考え方”のことです。

なるほど～
 みんなが暮らしやすく
 なるために必要
 なんだね！



ユニバーサルデザインを考えた人

1980年代、車いすを使用しているアメリカ人建築家のロナルド・メイ
 ス氏が提唱しました。
 彼は、「障がいのある人に対する製品やデザインは、特別で費用がか
 かる」という概念を破り、バリアフリーデザインの無骨で魅力のない見
 栄えの悪さをなくそうという考えから、ユニバーサルデザインを提唱
 しました。

気づき②

どんなものがユニバーサルデザイン？

ユニバーサルデザインの7原則

ユニバーサルデザインの基本となる考え方を7つにまとめたものです。
 なるべく多くの原則に当てはまるためにはどうしたらよいかを考えたり、工夫することが大切です。

- 1 公平性** 誰でも同じ手段・方法で使えること
 (例) 自動ドア…車いすでも目の不自由な人でも誰でも使えます。


- 2 自由性** 自分に使いやすい方法を選べること
 (例) エレベーターのボタン…使いやすい高さのボタンを選べます。


- 3 単純性** 使い方が簡単で直感的にわかること
 (例) 大型スイッチ…押しやすく、ONの場合は赤いランプがつかます。


- 4 わかりやすさ** 必要な情報がすぐにわかること
 (例) ピクトグラム…子どもや外国人にもすぐに伝わります。


- 5 安全性** うっかりミスや危険につながらないこと
 (例) 電子レンジ…途中で開けると、自動的に止まります。


- 6 省体力** 無理な姿勢をとることなく、弱い力でも
 楽に使えること
 (例) レバー式のドア…指の不自由な人や力の弱い人も使えます。


- 7 スペースの確保** 使いやすい寸法・空間が
 あること
 (例) トイレ…車いす等の人が利用するトイレでは広い空間を確保しています。



気づき③

どうしてユニバーサルデザインが必要なの？

ユニバーサルデザインの必要性

まちづくりやものづくりをするときに、どうしてユニバーサルデザインが必要になってきたのでしょうか。

昔

まちやモノをつくる時に、「健康な大人の男性」を対象に作られてきました。

社会状況の変化

高齢化

国際化

価値観の
多様化

女性の
社会進出

など

バリアフリー

ユニバーサル
デザイン

現在

“すべての人が暮らしやすい社会”が求められるようになりました。

将来は・・・

- すべての人が、自分の考えで自由に行動できる社会
- すべての人が、いろいろな活動に参加できる社会
- すべての人が、思いやりの心を持って行動する社会



ユニバーサルデザインが当たり前の社会になるといいね！

気づき④

バリアフリーとはどう違うの？

バリアフリーとユニバーサルデザインの違い

「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」は似ているイメージがありますが、どのように違うのでしょうか。

バリアフリー

対象者

高齢者・障がいのある人など
特定の人

考え方

社会や生活の中のバリアを
後から取り除く

具体例

車いす昇降機



車いすの人しか利用しません。
また、インターホンで係員を呼ぶ
必要があり、気軽に利用できません。

※現在は、エレベーターが設置されたため、
写真の昇降機は撤去されています。

ユニバーサルデザイン

ハンディキャップに関係なく
すべての人

はじめからバリアがないように
配慮する

エレベーター



車いすの人だけでなく、ベビーカー
や大きい荷物を持った人など、誰でも
利用できます。

バリアフリーとユニバーサルデザインは、
少し違うところもあるけど、
誰もが暮らしやすい社会にするためには、
どちらも大切なんだね！








考え①

どんな人がどんな不便を感じているの？

いろいろな人の不便さを考えてみよう

それぞれの立場になって想像してみてください。また、その他にどんな不便さがあるか考えてみましょう。

 <p>高齢者</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小さい文字が見にくい、音や声が聞こえにくい 力が弱くなり、重いものを持つのが大変 段差でつまずきやすい
 <p>車いすの人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 段差を乗り越えるのが大変 高い所にある物やスイッチなどに手が届かない せまい駐車場では、車の乗り降りができない
 <p>目が不自由な人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 点字ブロックの上に障害物があると前に進めない 横断歩道をまっすぐ歩くのが難しい 缶詰やペットボトルの中身がわからない
 <p>耳が不自由な人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 車や自転車が近づいたことに気づかない 字幕がないテレビ放送は、内容がわかりにくい 耳が不自由なことに気づかれにくい
 <p>日本語がわからない外国人</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の案内や説明が理解できない 火事などの非常時に、日本語放送が理解できない 習慣の違いから、誤解を受けることがある
<p>その他にも</p>	<p>内部障がいの人※……見た目で障がいがあることに気づかれない 左利きの人………右利き用のハサミなどは使いにくい ベビーカーを使う人……階段が登れない</p>

※内部障がい……心臓や腎臓など体の内部の障がい



いろいろな人がそれぞれ不便を感じているんだね。
でも、不便だなと感じるときは、みんなにもあるんじゃないかな？
一緒に考えてみよう！



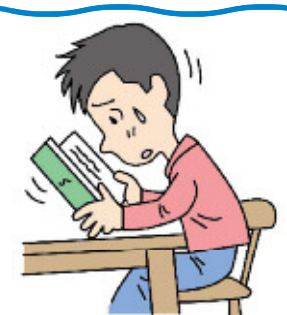



考え②

ユニバーサルデザインは誰のため？

みんなのためのユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインは、高齢者や障がいのある人のためだけでなく、すべての人に関係があります。

例えば・・・

<p>道を歩いたり、自転車に乗るとき</p>  <p>道に段差やデコボコがあると、つまずいたり転んだりします。</p>	<p>ケガや病気をしたとき</p>  <p>普段は元気な人でも、車いすや松葉杖を使うことがあります。</p>	<p>本やチラシを読むとき</p>  <p>文字が小さくて読みにくかったり、色の組み合わせによっては見にくいことがあります。</p>
<p>旅行や外出するとき</p>  <p>案内図や看板がわかりにくいと、目的地までなかなか行くことができません。</p>	<p>階段をのぼるとき</p>  <p>疲れていたり荷物を持っていたりすると、大変な思いをすることがあります。</p>	<p>容器を開けるとき</p>  <p>強い力が必要なものや、開け方がわかりにくい容器は不便です。</p>

ユニバーサルデザインは、みんなのために必要なんだね！
関係ない人なんて、いないんだ！



考え③

身近なユニバーサルデザインを考えよう

みなさんの身の回りにおける「情報」と「もの」に関するユニバーサルデザインを紹介します。

情報

1 スマートフォン



いつでもどこでも必要な情報を簡単に入手できます。また、耳が不自由な人もメールで情報を交換できます。

2 ホームページ



文字拡大機能やスマートフォン対応など、誰にでも利用しやすいように工夫されています。

3 ピクトグラム



絵文字で表しているため、小さい子どもや日本語が読めない外国人にもすぐに理解できます。

4 ゴミ収集カレンダー

4月	11	月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11		
12	13	14	15	16	17	18		
19	20	21	22	23	24	25		
26	27	28	29	30				

誰にでも情報を正しく伝えるため、色の組み合わせや模様などを工夫しています。

5 要約筆記



講演会などの内容を文字で映し出すので、耳の不自由な人だけでなく、誰でも理解できます。

6 外国語版のパンフレット



外国人にも浜松のことを知ってもらうため、それぞれの言語で作られたパンフレットを用意しています。

7 総合案内板



施設内の配置が誰でもわかるように、外国語や点字でも表記しています。

8 音声案内板



目的地までの行き方を音声で聞くことができ、車いすの人でも近づいて見ることが可能です。

9 案内サイン



駅(青)や公共施設(緑)、通り名(白)を色分けして、見やすくしています。

どんな工夫がされているか考えてみよう!

もの

1 シャンプーボトル



ギザギザの突起がついているので、目を閉じていてもコンディショナーと区別できます。

2 牛乳パック



牛乳パックは屋根部分に「切り欠き」があるので、さわって他の飲物と区別できます。

3 ラップの箱



「W」のマークが浮き出ているので、さわってアルミホイルと区別できます。

4 お酒の缶



「おさけ」と点字が表記されているので、目の不自由な人が他の飲物と区別できます。

5 計量カップ



容器の内側にも自盛りがついているので、上から見て量ることができます。

6 自動販売機



低い位置にもボタンがあるので、子どもや車いすの人でも利用しやすくなっています。

7 UD文房具



力の弱い人や左利きの人でも使いやすいなど、誰にでも便利な工夫がされています。

8 UDトランプ



左利きの人でもカードを広げたときにマークと数字が見えます。また、点字もついています。

9 振動付き体温計



音だけでなく振動でも知らせてくれるので、耳の不自由な人でも使いやすくなっています。

考え④

身近なユニバーサルデザインを考えよう

街中で見かけることができる「交通・道路」と「建物」に関するユニバーサルデザインです。

交通・道路

1 駅の改札口



車いすやベビーカーなどが通れるように、幅が広い改札口を設置しています。

2 駅前の案内サイン



外国から訪れた人にもわかりやすいように、5ヶ国語やピクトグラムで案内しています。

3 多機能なバス停



屋根、風よけ、ベンチ、音声案内、バスロケーションシステム、情報ディスプレイを備えています。

4 ノンステップバス



床が低いので、車いすの人やお年寄りはもちろん、誰でも楽に乗れます。

5 UDタクシー



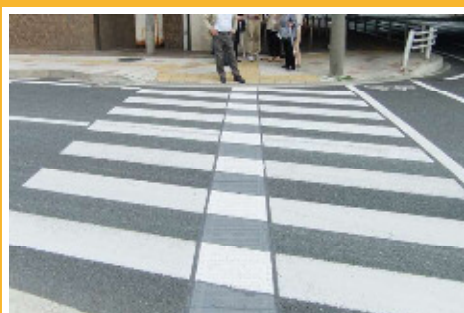
室内が広く、荷物もたくさん積めて、車いすの人でも同乗できるみんなにやさしいタクシーです。

6 UDブロック



段差がないので安全です。また、溝があるので、目の不自由な人が歩道と車道を区別できます。

7 エスコートゾーン



中央部分にある突起の列を手がかりに、目の不自由な人も横断歩道を安全に渡れます。

8 路面誘導サイン



歩道に設置しているので、車いすの人や子どもの低い目線でも見やすくなっています。

9 音響信号機



音(ピヨピヨ、カッコー)で青信号を知らせます。また次の信号が変わるまでの時間の目安を光で表しています。

普段からよく見かけるものもありますが、どこがユニバーサルデザインなのでしょう？

建物

1 思いやり駐車場



身体の不自由な人や妊婦さん、ベビーカーを使う人などが優先的に利用できる駐車場です。

2 音響誘導装置



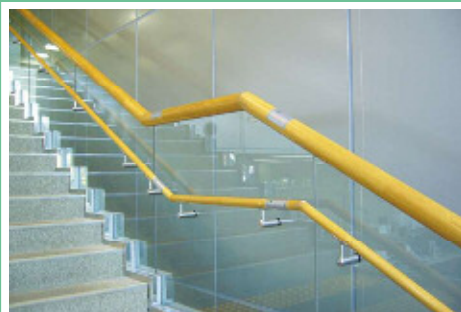
カード型送信機(エコカード)を持って近づくと、現在地や受付などを音声で案内します。

3 点字ブロック



目の不自由な人を安全に誘導するために、点や線の突起が付いたブロックを設置しています。

4 二段手すり



手すりが二段になっているので、自分に合った高さを選べて安全です。

5 エレベーター



車いすやベビーカーを使う人など、階段が登れない人でも利用できます。

6 ローカウンター



カウンターが低いので、車いすの人や高齢者も座ってお話がしやすくなっています。

7 トイレ



利用できる人や設備をピクトグラムで表示しています。

8 高さの違う洗面台



子どもや車いすの人なども利用しやすいように、洗面台の高さを変えています。

9 授乳室



授乳やおむつ替えができる個室があると、赤ちゃんを連れたお母さんなどが安心です。

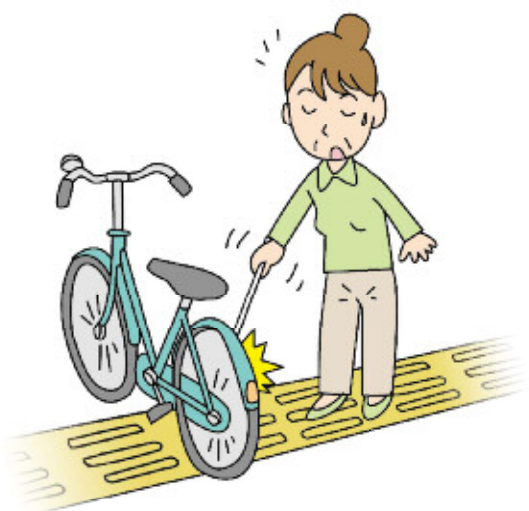
行動する① ユニバーサルデザインの行動とは？

みんなで実践しよう！ 心のユニバーサルデザイン

誰もが暮らしやすいまちにするためには、ユニバーサルデザインに配慮した道路・建物などを整備するだけでは限界があります。
その足りないところを補うのが、私たち一人ひとりの「心のユニバーサルデザイン」です。

「心のユニバーサルデザイン」とは、
一人ひとりが“思いやりの心”を持って、
相手の立場になって考え、行動することです。

せっかく、ユニバーサルデザインに配慮して整備しても・・・



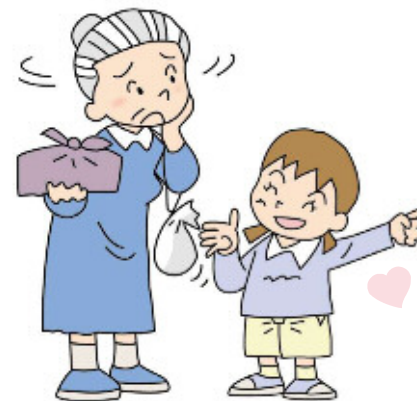
点字ブロックの上に自転車などが置いてあると、目の不自由な人は前に進めなくなって困ってしまいます。



駐車場が混んでいるからといって、身体障害者用駐車場に停めてしまうと、本当に必要な人が使えなくなってしまいます。

行動する② みんなにもできることって何だろう？

心のユニバーサルデザインの例を紹介します



困っている人を見かけたら、声をかけよう！

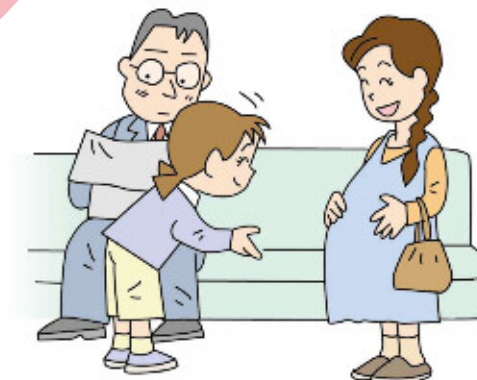


体の不自由な人が困っていたら、みんなで助けよう！

できることから
はじめよう！



目の不自由な人やお年寄りと一緒に横断歩道をわたってあげよう！



お年寄りや妊婦さんへ席を譲ろう！

あなたなら、
どうしますか？



※このドアは、外側に開きます。

- ①この人が不便を感じていることは何だろう？
- ②あなたにできることは何か、考えてみてください。

たくさんの方がユニバーサルデザインを理解して、広めていくことが大切なんだね。
そして、みんなで心のユニバーサルデザインを
実践すれば、誰もが住みやすいまちになっていくよ！

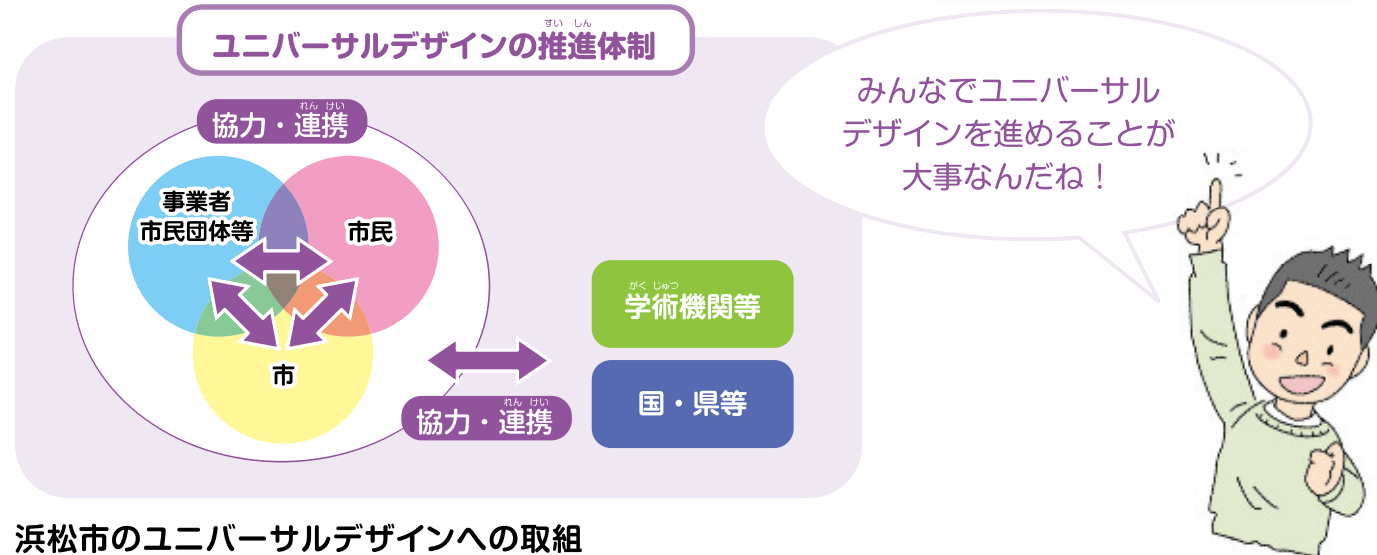


浜松市のユニバーサルデザイン

浜松市が目指すユニバーサルデザインのまちとは？

おも ころ むす やさ
「思いやりの心が結ぶ優しいまち」を
 市民や事業者のみなさんと一緒に目指しています。

浜松市では、誰もが安全で安心、快適に過ごすことができるよう、市の施策や事業にユニバーサルデザインの理念を取り入れ、総合的・計画的に推進しています。



浜松市のユニバーサルデザインへの取組

- 平成12(2000)年度: UD室を設置し、全国でもいち早くユニバーサルデザインへの取組を開始
- 平成13(2001)年度: U・優プラン(UD計画)・第1期推進計画策定(3月)
- 平成14(2002)年度: 全国に先駆けてUD条例制定(H14.12.17)
- 平成18(2006)年度: U・優プラン(UD計画)・第2期推進計画策定(3月)
- 平成22(2010)年度: 国際的な会議である「第3回国際UD会議2010inはままつ」開催
- 平成23(2011)年度: U・優プランII(第2次UD計画)・第1期推進計画策定(3月)
- 平成28(2016)年度: U・優プランII(第2次UD計画)・第2期推進計画策定(3月)
- 令和元(2019)年度: 先導的共生ホストタウン認定
- 令和3(2021)年度: U・ゆうプランIII(第3次UD計画)・第1期推進計画策定(3月)

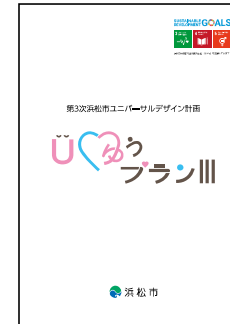
浜松市ユニバーサルデザイン条例

平成15(2003)年4月、ユニバーサルデザインによるまちづくりを推進するため、基本理念や基本事項を定め、市民・事業者・行政のそれぞれの役割を明らかにして、すべての人が安心・安全で快適に暮らすことができる社会を築くためにUD条例を施行しました。



第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画(U・ゆうプランIII)

令和4(2022)年4月から第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画がスタート



誰もが生き生きと暮らせるまちづくりを行っていくためには、市民が中心となり市民の視点から、ユニバーサルデザインを主体的に行動、実践していくことが必要です。

そこで本計画では、ICT(情報通信技術)などのデジタル技術を有効活用しながら、「ひと」「こと」「くらし」の3つの柱のすべてを、「ころ」が覆う、あるいは「ころ」を込めるという基本目標を掲げ、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めていくことを目指します。

「U」: Universal Design(ユニバーサルデザイン)と
 「ゆう」: 優しさ、自由、友愛、You(あなた)を
 心でを表す「♥」(ハート)で結びました。

浜松市ユニバーサルデザインのシンボルマーク

ユニバーサルデザインの「U」とデザインの「D」をモチーフに親しみのもてる笑顔のキャラクターとしてデザインされました。「思いやりの心が結ぶ優しいまち」の実現を目指す浜松市民を、優しい笑顔で見守ってほしいという願いが込められています。



ユニバーサルデザインをもっと知りたい人は…

UD出前講座・UD施設見学・UD講師派遣・企業のUD出前講座

受講無料

- ①UD出前講座……市職員が学校や団体に出向いて、UDの基礎講座を行います。
- ②UD施設見学……ガイド員等がアクト通りや市役所などでUD設備の説明をします。
- ③UD講師派遣……UDの知識を有する市民講師を派遣します。
- ④企業のUD出前講座……市内企業の経営者や担当者を派遣し、ものづくりやサービスを行う視点からUDをお話しします。

お問合せ先

- ①は、お近くの区役所 区振興課または行政センター(下表参照)
- ②③④は、市役所 UD・男女共同参画課(裏面参照)

中央区	区振興課	電話: 457-2210
	東行政センター	電話: 424-0115
	西行政センター	電話: 597-1112
	南行政センター	電話: 425-1120

浜名区	区振興課	電話: 585-1141
	北行政センター	電話: 523-1168
天竜区	区振興課	電話: 922-0011